

通常総会開催（2016年4月24日）

平成28年度通常総会が枚方市野外活動センター会議室にて10時より開催されました。司会の岡より、総数62名・出席者58名（内委任状30名）で本総会成立の要件を満たしている旨の報告があり、その後議長に市山氏を選任し議事に入りました。

- ①H27年度活動報告・決算報告及び監査結果報告
 - ②H28年度活動方針・活動計画及び予算について
- 各担当理事より詳細に提案説明がなされ、質疑応

答後承認されました。

- ③今年度は役員改選期であり、市山・田上・村上各理事・生田監事が任期満了に伴い退任され、新理事に近藤さん・勝原さん・土田さんの3名と新監事に佐古さんを選任し総会を終了した。

退任されました市山さん・田上さん・村上さん・生田さん有難うございました。今後も宜しくご指導願います。
(岡 春司)

会員による茶摘み（2016年5月13日）

恒例の会員による茶摘みを実施、当初11日の予定が雨天の為延期になり製茶工場へ延期の旨連絡工程が空いている日を確認し急遽13日の実施となった。会員には電話連絡し19名の方に参加頂いた。

今年は23.5kgを製茶工場に持ち込み5.3kgの製茶が出来上がった。現在小袋に詰め会員に成果物として配っています。22日には活動終了後参加者全員で試飲した。格別においしかったです。
(岡春司)

「竹とあそぼ！（第1回）」市民参加茶摘み体験（5月15）

快晴に恵まれ、むしろ暑く感じる5月の日曜、10家族30名が穂谷の里に集まり初めての茶摘みに挑戦し、栗林の下に広がる茶畑で若草色の新芽を摘んだ。なかには暑さと単調な作業に飽きて山いちご取りに転向したり、高く伸びたタケノコ採りに熱中する子供たちもいたが、皆が熱心に摘んだおかげで予想以上の茶葉が収穫できた。

昼食後は5班に分かれ、セイロで蒸した茶葉の熱さを我慢しながらムシロの上で揉み、煙いのを我慢して鍋で乾燥させる工程を何回も繰り返してお茶に仕上げた。ようやく出来上がった新茶を菓子と一緒にみんなで楽しんだが、自分で作っただけに格別のように、班ごとに「自分たちのお茶がいちばんおいしい！」との声が聞かれた。

(西本敏明)

竹炭窯改築顛末記 吉田会員よりの投稿

1月の理事会で竹炭窯改築承認を頂いた。早々に老朽窯を撤去、佐古会員より提供のドラム缶を加工、新窯設置と相成った。加工に際し焚口は前回と同様に、排煙口は加工手数を省き缶の大栓をそのまま利用することにした。これが大間違いで、時間の都合等々で初日（第1回）中に焼きあがらず、再度焼き足す場合は、未焼成の竹炭を撤去後、排煙口を清掃しないと、冷え膨らみスポンジ状に

なって固化、塞がったタールが、新たに発生させた竹材乾溜用熱気の窯内・煙道通過を遮り、炭化に支障すると判明。対策には、手直し作業で、排煙口を広げ詰まる要因を減らすに尽きると、ここで山脇正成会員が救世主となって下さり、先輩採用の鋳鉄製煙突に繋がる、より太い排煙口へと変更できた。これでやっと改築の意図が果たせた。
(2016年4月27日 記 吉田善彦)

《竹取物語の会 活動組織図》

代表理事 岡・

副代表理事 松山（指名第1番）・

小出（指名第2番）

事務局・学習 G	担当：岡 ・ 有末 ・ 西本 ・ 勝原 外部情報受入れ窓口・紹介・折衝、里山保全講座運営、申込資料・報告書作成 HP 更新管理、機関紙「竹取物語新聞」発行
保全活動 G	担当：西本 ・ 小出 ・ 山脇 ・ 土田 年間計画作成、日常作業提案、安全管理、用具管理、製材機管理、果樹園管理、 茶畑管理、作業フィールド管理、体験依頼などの受入れ・対応
クラフト G	担当：松山 ・ 近藤 ・ 西本 ・ 勝原 作品創作・試作、材料収集、会員&外部団体普及指導
資源活用 G	担当：小出 ・ 勝原 ・ 岡 竹炭・竹酢液生産、竹紙作成・紙漉き指導、茶摘み体験(手もみ製法) 指導、 山田池奥山田川など水質検査、シイタケ栽培、間伐材の用途拡大検討
会計担当	担当：山脇 予算管理・活動計算書作成・予算書作成・各種財務資料作成

★竹取物語新聞発行担当 岡・松山・西本・山脇・勝原

★HP 更新担当 岡・西本・松山・土田